

放送部、来年の全国大会は兵庫県！挑戦は続く・・・(夏その1)

夏休み期間・・・今年は、顧問が不在の時が多く、その分、活動日数が限られました。この間、課題作成に取り組むことができます。早く終わればそれだけ自分の時間が増える。どれだけ有意義な時間にするか、腕の見せ所・・・。とりあえず、今年の夏の活動一場面です。

美術科夏季見学会



例年通り、司会進行を努めました。

第66回NHK杯全国高校放送コンテストの裏側・・・



最寄り駅は“原宿”か“渋谷”、東京のど真ん中で全国大会開催

第66回NHK杯全国高校放送コンテストの裏側・・・



全国大会の運営には多くの生徒も関わります。来年は兵庫県で全国大会、皆さんの出演。

第66回NHK杯全国高校放送コンテストの裏側・・・



会場に入れない多くの見学者もあります。入れない人をどうするのか？どのような人の流れを作るのか？来年は兵庫県です。

キャリア教育講演会（明石南高校）



読売テレビの諸國アナウンサーの講演があるということで声を掛けていただき、明石北高校放送部と共に参加しました。概要は右の通りです。参加生徒も大喜び。

～伝えたいこと～

- ・ 人生いつだってリスタートできる
- ・ 無駄な経験はない
- ・ 家族・周囲への感謝
- ・ 紆余曲折あったていいじゃない

～キーワード～

「環境変えても自分は変わらない」
 「やらない後悔よりもやる後悔」
 「うまく行かない。で、吹っ切れた。さらけ出したら温かい声、世間は優しくなった。」
 「発信したい夢、これは大切」

夏の活動を1ページでと思っていたところ、次々と発信したいことがあり、今回は“夏その1”ということで作成しました。「放送部=アナウンス」という印象もありますが、番組を作成するのも行事の運営ができるのも実は放送部です。それぞれの役割の中で、いかに思いを発信するか、相手に伝わるよう工夫できるか、腕の見せ所。ヒマな時も忙しい時もあります。でも、懸命に取り組んでいけば、思わぬ機会にめぐり合えることもあり、時には有名人から直接アドバイスをもらえる機会もあるかもしれません。それは人生の宝になるかもしれません。それが放送部・・・。